



森の芸術祭 晴れの国・岡山が開催されました

岡山県北部12市町村を舞台に行われた国際芸術祭は国内外から30名を超えるアーティストが県北各地で素晴らしい作品を展示、のべ52万人もの来場者が訪れ大好評のうちに閉幕しました。

トピックスに関連してQRコードで該当ページにリンクしていますのでご参照ください。

★海ごみ削減キャンペーン★

「おかやまゴミ退治大作戦」瀬戸内海国立公園指定90周年を機に各地で海ごみ清掃を実施します。



★岡山県男性育児休業取得促進奨励金制度★

「男性育休が当たり前な社会」の実現を目指し、県内企業等における男性育児休業の取得促進を図るため、男性育児休業取得期間に応じた奨励金を支給制度です。7月から2月まで開催されるセミナーのうち1回の受講が条件となります。次回2月17日(月)開催となります。



次回県議会定例会日程（予定）

2月21日:開会	3月06日:一般質問	3月13日:特別委員会
2月27日:代表質問	3月07日:一般質問	3月14日:特別委員会
3月04日:一般質問	3月11日:一般質問	3月17日:常任委員会
3月05日:一般質問	3月12日:予備日	3月18日:議会運営委員会 3月19日:閉会（以降6月）

◆生年月日：昭和49年6月 岡山県笠岡市に生まれる。◆学歴：城見小学校・金浦中学校・近畿大学附属福山高等学校・広島経済大学経済学部卒 ◆卒業後は保険代理業を営み、笠岡市PTA連合会会長や笠岡青年会議所理事長など歴任し現在は防災士や陸上競技の指導者として活動中。

◆議員歴：令和2年4月 笠岡市議会議員初当選・令和5年4月 岡山県議会議員初当選

令和5年度 文教委員会、防災・環境対策・スポーツ振興特別委員会、

令和6年度 産業労働警察委員会 副委員長、防災・環境対策・スポーツ振興特別委員会 副委員長

◆役職：日本防災士会岡山県支部 監事、陸上競技協会 副会長 他多数

県議会傍聴をご希望の方は、県議会1階の傍聴受付で、住所と氏名を記入し傍聴券の交付を受けて入場していただけます。本会議は午前10時より受付は10分前からです。定員95人（先着順）です。



公式HP

★晴れて輝け！おかやま国スポ開催★
1月26日～2月5日 岡山市・倉敷市にて岡山県初開催となる第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会が開催されます。

おかやま国スポFUN! FUN! FAN!

この大会を多くの県民の皆様に、実施競技を身近に感じてもらい大会を盛り上げるために、大会期間中に県南（倉敷市）、県北（津山市）で体験型パブリックビューイングイベントが開催されます。



国スポHP



イベントHP

笠岡市にお住いの皆様へ

KAGAYAKI

坂本りょうへい 県政リポート

ごあいさつ

皆様におかれましては、日々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

県政の扱いを頂戴し、あっという間の月日に日々自問自答を繰り返しながら我が事として岡山県のため、ふるさと笠岡市のため行動をしています。

より身近で地に足をつけた議員として、これからも皆様と一緒に故郷の未来を考え汗を流していきたいと思います。

ここに、9月・11月定例会までの活動のご報告をさせて頂きたく、県政リポートKAGAYAKIをお届けさせていただきます。

岡山県議会議員 坂本亮平



手作りのためお見苦しい点、多々ありますご許しください



お問い合わせ
坂本りょうへい事務所
〒714-0088
岡山県笠岡市中央町34-14
TEL 0865-61-4117
FAX 0865-61-4430
info@ryohei-sakamoto.com

討議資料

タウンプラス 料金別納

9月定例会



9月定例会(会期 9/5 - 10/4)

9月定例会では、一般会計補正予算として岡山桃太郎空港(岡山市)と台湾の高雄国際空港を結ぶチャーター便の運航支援経費を盛り込んだ**1億3,600万円**、8議案を原案通り可決しました。また、外国人材の積極的な受け入れと多様な支援を推進する「外国人材等支援推進条例」を委員会発議し可決。今回再編対象となった笠岡工業高等学校について、学びの場の存続を求める請願や陳情計3件を採択しました。人事案件では監査委員、公安委員各1人を再任する人事案件に同意しました。これにより、補正後予算は**7,551億8,500万円**となります。

9月定例会で成立した補正予算

マイナンバーカードを受給者証として利用するためにシステム改修を行う指定医療機関への補助

4,820万円

精神通院医療 1,360万円
難病・小児慢性医療 3,460万円

台北線の増便等の運航経費支援及びPR事業

3,009万円

市町村の木造住宅等の耐震診断改修に対する補助事業への見込み増

1,456万円

保育支援者を配置した市町村の補助事業への見込み増

2,325万円

Q. A. 【9月定例会一般質問 有害鳥獣対策・障がい者スポーツについて 抜粋】

●有害鳥獣対策について：地域団体への支援

〈質問〉捕獲した鳥獣の利活用において、捕獲鳥獣の解体・処理は食肉加工場の許可を受ければ設置できるが、地元協議会など地域団体でもこの分野へ進出は可能と考える。地域でのジビエ利活用に対して県はどういった支援ができるのかを尋ねる。

【答弁：農林水産部長】

ジビエ処理加工施設の運営を希望する地域団体に対して、住民等で構成する協議会による取組事例や各種手続きに関する情報の提供に努めるとともに、**新たな施設の整備や運営等についての相談に丁寧に対応する**など、ジビエ利活用に向けた取組みを支援していく。

坂本の目：有害鳥獣対策は全県あげての課題であり様々な視点から可能性を見出したい

●障がい者スポーツについて：環境整備

〈質問〉障がいのある方も安心してスポーツを楽しみ、練習を行う環境を整備するために、施設内の利用状況を提供したり、「一般の方やクラブ・学校関係者」にも状況や特性を踏まえた上で安全に留意すべき点などを啓発や注意喚起を行うことが必要と考えるが見解を尋ねる。

【答弁：子ども・福祉部長】

障がいのある人への配慮も含め利用する人の相互理解の下で、誰もが安全・安心に気持ちよく利用することができるよう、施設管理者や関係機関・団体等と連携・協力し注意喚起など適切な対応をしていく。

●障がい者スポーツについて：地域クラブ活動への理解促進

〈質問〉学校部活動地域移行における活動に対しても障がい者スポーツの理解促進を図る必要がある、どのように図っていくのか。

【答弁：環境文化部長】

地域クラブへの研修も定期的に開催する予定であり、**障害者の方に関する対応の仕方についても今後カリキュラムに組み込む**ことで調整していく。

坂本の目：地域クラブも子ども達のために広い見識をもって対応ができるようにしていきたい

●スポーツについて：県有スポーツ施設の熱中症対策

〈質問〉年々厳しくなる暑さに対し、屋内屋外問わず各スポーツ施設において対策が必要である。ミスト設置や避暑場所設置など今後の対策を尋ねる。

【答弁：環境文化部長・土木部長】

来期に向けて、熱中症を未然に防ぐことを念頭に施設管理者や競技団体と連携をしながら特別警戒アラート発令時の利用自粛やガイドブックに沿った予防行動を促すなど各施設の状況に応じた対策を講じていく。

坂本の目：競技の特性を踏まえ競技団体ともしっかりと協議をしていただきたい


11月定例会



11月定例会(会期 11/29 - 12/20)

伊原木知事、4期目の再選最初の定例会として冒頭、所信表明から定例会が始まりました。

加速化する人口減少が顕在化させた子育てや教育、商工業、農林水産業、雇用、医療、福祉、防災などに触れ、県政の喫緊の課題とする少子化対策については、「我々の世代が責任を持って解決につなげるとの決意の下、市町村や企業、NPO等とスクラムを組みながらオール岡山で取り組む」と述べました。

また、提案された一般会計補正予算はLPガスの使用料助成などの物価高騰対策を含む**311億2,100万円**、28議案を原案通り可決しました。その他、刑事訴訟法の再審規定の改正、学校給食の無償化に向けた財源確保を国に求める意見書案2件を委員会発議とし可決。人事案件では公害審査会委員を新任、再任する議案に同意しました。これにより補正後予算は**7,855億1,500万円**となります。

11月定例会で成立した補正予算

LPガスを使用する家庭等の負担軽減・特別高圧電力を利用する中小企業等の負担軽減の経費対策

12億795万円

LPガス 7億8,600万円
特別高圧 4億2,195万円

〈所属委員会事案〉

農地や道路・河川・港湾等、都市計画に係る公共事業費

187億4,927万円

防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策に基づく国直轄事業負担金

52億5,858万円

人事委員会の勧告等に基づく人件費の引き上げにかかる経費

59億4,307万円

Q. A. 【11月定例会一般質問 指定管理者制度・不登校対策について他 抜粋】

●指定管理者制度について

〈質問〉指定管理者制度は物価高と人件費上昇に直面し自助努力で対応できないとの声を聞く。令和7年度予算編成方針では運営費の物価高騰対策等を考慮した加算を認めており、指定管理も同様にすべきだと感じる。制度が持続し県民サービスを安定的に見通しが立つ仕組みを構築してほしいが所見を伺いたい。

【答弁：伊原木知事】

物価高や人件費の上昇が継続しており、今後の動向も不透明であることから、指定管理料を物価指標等の変動に応じて増減させる**スライド制度の導入を検討**する。

坂本の目：人件費や物価高騰は運営に大きな影響を与えるサービスを低下させないよう柔軟な対応を望む

●外国資本等による土地所有について

〈質問〉近年、外国資本等による土地や水源地域等の不動産売買に伴う所有権移転が問題となっており、国の調査では本県で森林48haが外国法人所有とされている。令和3年に同質問をされた際には「県としては独自制度は設けないが市町村と緊密に連携して情報把握をする」とのことであった。国土を守る事は故郷を守る事であり、アンテナを張り準備しておく必要がある中、市町村との緊密な連携を伺いたい。

【答弁：農林水産部長】

土地取得に対しては市町村との連携し土地所有状況を把握している。森林開発については保安林制度やリンク開発許可制度等に基づき、監視や指導を行っている。今後も森林法等関係法令の適切な運用により土地所有者の情報把握や監視・指導を行っていく。

●不登校対策について

〈質問〉自主映画「夢見る小学校」を拝見し、子どもを真ん中に置くという意味のヒントを得た。子ども達の多様な感性に大人の価値観を植え付けるのではなく視野が広く柔軟な指導ができる、誰一人取り残されない教育現場を目指していただきたいと思うが見解を伺いたい。

坂本の目：子ども達の笑顔が創る教育現場の構築
様々な視点から子ども真ん中施策を考えていこう

【答弁：教育長】

学びの多様化学校を設置する市町村に対して、設置形態の在り方や特別教育課程の編成など**不登校児童生徒の学びの場が保障される**ように市町村教育委員会を支援していく。